

2025年度

放送大学徳島学習センター

出張講義のご案内

- ご希望の講座がありましたら、ご連絡ください。
- 実施日、講義内容等につきましては、担当客員教員との相談になりますので、できるだけ早めにお申込みください。
- Web会議システムを用いた講義を希望する場合は、必ず、お申込み前にご相談ください。
- 講師謝礼金、交通費等は必要ありません。
- プロジェクター、スクリーン等の用意をお願いする場合があります。

〒770-0855

徳島市新蔵町2丁目24番地 徳島大学日亜会館3階
放送大学徳島学習センター（担当：元山）

TEL：088-602-0151 FAX：088-602-0152

放送大学徳島学習センター出張講義一覧

2025年度版

1. 工学：題目「IoT社会における安全・安心の確保」

講 義 内 容	現在、我々は第4次産業革命の真っ只中にいます。その産業革命で生み出される社会はさまざまな「モノ」がインターネットにつながるIoT（Internet of Things）で作られる社会です。IoTで得られた大量のデータを人工知能（AI）等を用いてコンピュータで処理することで、我々はより豊かな人生を過ごせるようになることが期待されています。たとえばその社会では自動車の自動運転も実現されるでしょう。この産業革命で生み出される社会ではより一層、安全・安心の確保が重要で、それを実現する方法について本講義では紹介します。
対 象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏 名	橋爪 正樹（放送大学徳島学習センター所長・徳島大学名誉教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

2. 工学：題目「エレクトロニクス回路のヘルスマニタリング」

講 義 内 容	エレクトロニクス回路は身の回りの電子製品だけでなく自動車にも組み込まれており、その回路の高信頼性が求められています。その一方で回路の小型化要求から高機能回路をサイズの小さな部品で作ることが求められ、その結果、高信頼性確保が難しくなっています。さらに製品の使用期間が長くなっていることから、動作中に欠陥が発生し電子製品の稼働停止に至る可能性があり、エレクトロニクス回路の健康状態を監視する必要性がでてきています。本講義ではエレクトロニクス回路におけるそのような現状とその解決策を紹介します。
対 象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏 名	橋爪 正樹（放送大学徳島学習センター所長・徳島大学名誉教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

3. 交通工学：題目「地球温暖化問題と交通」

講 義 内 容	地球温暖化問題に対して、自動車交通からの温室効果ガス排出量の削減も必要となっています。世界では電気自動車（EV）の普及が急速に進められています。我が国における普及率はまだ高くありません。このため、自動車からの温室効果ガス排出量を抑制するための様々な方策が必要とされています。 本講義では、温室効果ガス排出抑制の考え方を学ぶとともに、その具体的な方策として、都市空間のコンパクト化、公共交通サービスの向上、自転車利用の促進、ロードプライシング、モビリティマネジメント、EVおよび燃料電池車両（FCV）について取り上げます。
対 象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏 名	奥嶋 政嗣（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

4. 土木計画学：題目「四国地方における災害に強いまちづくり計画」

講 義 内 容	東北地方太平洋沖地震は津波により未曾有の大災害となり、多くの教訓が残されました。四国地方では南海トラフ巨大地震による甚大な被害が想定されています。また、急峻な地形もあり、近年にも台風の襲来による多大な被害が発生しており、豪雨等による水害・土砂災害にも備える必要があります。 本講義では、四国地方整備局により策定されている「災害に強いまちづくりガイドライン」を参照しつつ、災害に強いまちづくり計画について学びます。特に「対象地域の現状把握・分析・課題の抽出」および「時間軸での備え検討」を取り上げます。
対 象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏 名	奥嶋 政嗣（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

5. 看護学：題目「看護（がん看護）とは何か」

講義内容	看護とは何か、どのような役割を果たしているのか、対象を見つめていく看護の役割をお話いたします。看護をしていくためには、どのような視点や理論を持ちながら対象を把握しているのかなど、事例を織り交ぜながらわかりやすく解説致します。また、看護師のキャリアディベロップメントの1つになるがん看護専門看護師の役割などもお伝えいたします。※場合によっては、看護ではなく、がん看護とがんのことに特化した看護の話題に変更することもできます。
対象	一般社会人、生徒、保護者、教職員
氏名	今井芳枝(放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

6. 看護学：題目「遺伝カウンセリングの実際」

講義内容	全ゲノム時代が到来するといわれ、がん治療もがんの遺伝子を解析して、治療を検討する時代になっている。その中で遺伝カウンセリングの果たす役割の比重が大きくなってきている。 本講義では、実際に遺伝カウンセリングとはどのようなものか、遺伝が持つ特性とはどのようなものであるのか、それがどのように影響を与えるのか、陪席する看護師の視点から、遺伝を考えていく上で大事なことは紹介いたします。
対象	一般社会人、生徒、保護者、教職員
氏名	今井芳枝(放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

7. 人文地理学：題目「地球環境問題をどう考えるか」

講義内容	世界全体で増え続ける人口、食料需給の地域的な偏り、不安定な資源やエネルギー供給、加速化する気候変動。地球環境問題は私たちひとり一人にとって避けて通れない課題です。この講義では、高校地理の授業で扱われる「地球的課題」をベースに、世界の地域格差や世代間の正義について考えます。
対象	一般社会人、生徒、保護者、教職員
氏名	豊田 哲也（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

8. 人文地理学：題目「郷土徳島の魅力を考える」

講義内容	吉野川はなぜ四国山地を横切って徳島県を西に流れるのか。徳島市は明治初期に人口が全国10位の大都市だったのはなぜか。すだちが徳島を代表する特産品になったのはいつからか。身近であたりまえだが実はよく知らない郷土の自然、歴史、産業など、様々なトピックスについて学びます。
対象	一般社会人、生徒、保護者、教職員
氏名	豊田 哲也（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

9. 心理学：題目「不安や抑うつへの支援」

講 義 内 容	不安や抑うつは、誰もが経験しますが、特徴的な症状が長く続き、生活に支障を来すようになると、不安症、うつ病、心的外傷後ストレス症などの精神疾患となり、専門的な支援が必要になります。本講義では、そうした精神疾患の症状と成り立ち、効果が実証されている心理的支援方法である認知行動療法の理論、技法、適用の実際を説明します。
対 象	一般社会人、生徒、保護者、教職員
氏 名	佐藤 健二（放送大学学習支援センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

10. 英米文学：題目「文学作品の翻訳の問題：スウィフトとキャロルの場合」

講 義 内 容	英米文学などの海外の文学作品を味読する際に、私たちは原書だけでなく日本語の翻訳もよく利用しますが、翻訳者によっては原文の意味を拡大解釈して訳したり、原文にはない言葉を勝手に補ったりしていることをしばしば見かけます。本講義では、作品の原文と翻訳との微妙な差異に着目し、そうした差異がどのように作品の世界を広げたり狭めたりしているかについて考えます。例としてスウィフトの『ガリヴァー旅行記』とキャロルの『不思議の国のアリス』を取り上げます。
対 象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏 名	山内 暁彦（放送大学徳島学習センター客員准教授・徳島大学大学院准教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

11. 心理学：題目「認知症の理解と予防、付き合い方」

講 義 内 容	高齢者の4人に1人の方が認知症とその予備軍とも言われるほど、認知症は一般的なものとなりました。「私も認知症になる？」「うちの親も・・・」そんな不安もよぎりますが、日々の生活習慣の工夫で認知症になる可能性を減らすことができます。しかし、認知症を治す特效薬がない現在、「認知症になってから」のことも考えておくことも必要でしょう。講義では、認知症の予防に加え、認知症の始まりに気づく方法や、認知症になってからの生活についてお話しします。
対 象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏 名	川西 智也（放送大学徳島学習センター客員准教授・鳴門教育大学大学院准教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

12. 心理学：題目「認知症の方の介護家族の心理とストレスケア」

講 義 内 容	認知症の方の介護を続けるご家族からは、「どう応じたらいいのか分からない」「どうしてもイライラしてしまう」などの悩みが聞かれます。そこには、認知症という病気に加えて、家族であるがゆえの介護の難しさもあるようです。講義では、認知症の方の介護家族が抱える心理や、介護ストレスを減らすための工夫についてお話しします。
対 象	一般社会人、保護者・教職員
氏 名	川西 智也（放送大学徳島学習センター客員准教授・鳴門教育大学大学院准教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL 088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン